

校長室だより No.9 7月24日(水)

自己理解はキャリアプランニングの第一歩(1年生・学科見学ツアー)

入学時に学科を決めて入学するのは中学生にとっては難しいことです。そこで本校では1年生で「プログラミング」や「情報処理」「簿記」など3学科の基礎となる専門科目を必修で学び、自分の好きな分野、得意な分野を見極め、2年生になる際にマルチメディア科、情報処理科、情報システム科のいずれかを選択します。また、その参考にするために7月上旬に1年生が「学科見学ツアー」を行っています。今回、その際のアンケート結果がまとまったようですので少し紹介したいと思います。

○実際に3年生が授業を受けているところを見たことで、どんな授業がおこなわれているのかとてもわかりやすく、参考になりました。自分はマルチメディア科を志望していましたが、情報システム科での取り組みにも興味が出ました。学科は自分の能力など合わせ、活躍していけるようなところを真剣に選んでいきたいです。

→実際に見学することで「自分の適性」について考えるきっかけとなっているようです。しっかりと自分を掘り下げてみて欲しいと思います。

○予想していたよりもっと高度なことをやっていて、正直どこも自分には難しそうだと思った。今は迷っているが、これから一つに絞っていきたい。

○自分が行きたい科に行けるように今から勉強をしっかりと頑張ってから後悔しないようにしたいです。

→3年生の授業なので難しく感じるのは当然のこと。今回の見学が今の自分を振り返り、今後の勉強への取り組みのモチベーションになってくれることを期待します。

○自分は簿記が好きなので情報処理科で極めたいと思いました。

→頼もしいですね。目指せスペシャリスト！

アンケート結果では「見学ツアーが学科選択の参考になった」と答えた人は97.8%。「見学前と変わらず、さらにその学科に行きたい気持ちが強くなった」という人は41.3%、「迷っていたが一つにしぼれた」人が10.9%。一方で「まだ迷っている」という人も42.4%もあり、やはり学科を最終的に決めるのは難しいことのようにです。

しかし、自分の適性を見極め、適切な学科を選択し、将来の進路の方向性を決め、それを実現していく能力、つまり「キャリアプランニング能力」は情報科学高校の生徒として是非身につけて欲しい能力です。生徒には自分の様々な可能性を考え、この時期に精一杯「ジタバタ」して欲しいと思っています。

1年生は2学期に今度は2年生の授業を見学する学科見学ツアーを実施する予定です。